

## ドメイン所有者

### ドメイン脆弱性を調査したい

自社ホームページなど重要なドメインを一つ決めて、ASM(脆弱性診断)を依頼する。

### ASM 診断結果の検証

診断結果を受けて脆弱性の解消と、システム納入時の『ハードニング実施済証明』の提出に備えることが重要と判断。

**POINT!** 有名なCVEは、Web制作会社などでも改修できるケースもあるが、ポート・ヘッダー・メール等の脆弱性は改修できないケースが多発しています。

### ASM【有料版】の実施を決定

深刻度レベル【赤】【オレンジ】の診断結果の仔細を知りたい。また、定期的にASMを実施したい。

### ASM・レコナイ診断結果の改修

自社での改修を実施。  
工数不足で対応ができない場合、弊社(未来研究所)の『伴走サービス』依頼を検討。

### 更に深く脆弱性を診断する

ペネトレーションテスト【有料版】定期的実施を決定

- 各脆弱性の攻略パターンを用いて診断したい。
- 各脆弱性の改修をイージスEWの改修方法を参考にハードニングを実施したい。
- 工数不足で対応ができない場合『伴走サービス』にて改修依頼を検討。

## 未来研究所 イージスEW 脆弱性診断

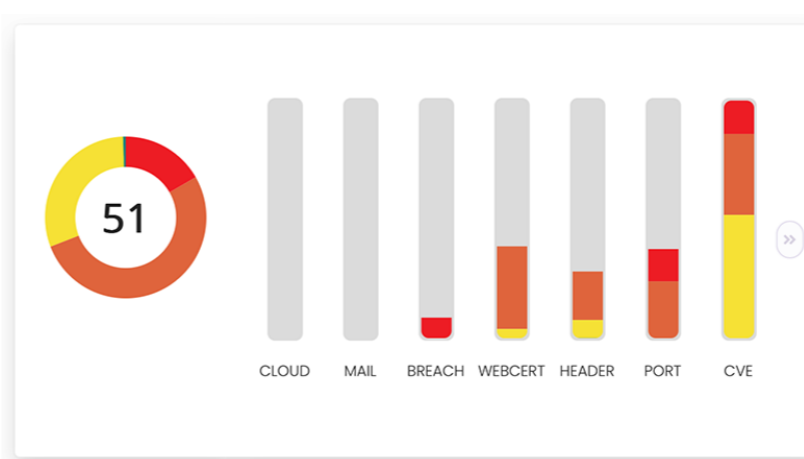
### ASM【無料版】を実施

総サブドメイン数の開示

総脆弱性件数の開示

CVSS・各分野の開示

(無料版では一部情報はマスキング)



#### 診断結果

深刻度レベル

【赤】

SE1年目で乗っ取り可

【オレンジ】

SE2~3年目で乗っ取り可

### ASM【有料版】を実施

全脆弱性診断の仔細情報開示

自動診断レポート生成

弊社による主な診断結果の改修方法レポート

ダッシュボード使用アカウントを発行

**POINT!** ASMで検出できるCVSS緊急・重要な項目番号が分かれば、ハッカーも簡単に乗っ取ることができます。

### ペネトレーションテスト【有料版】を実施

テスト結果の詳細を開示

レポート内容の説明

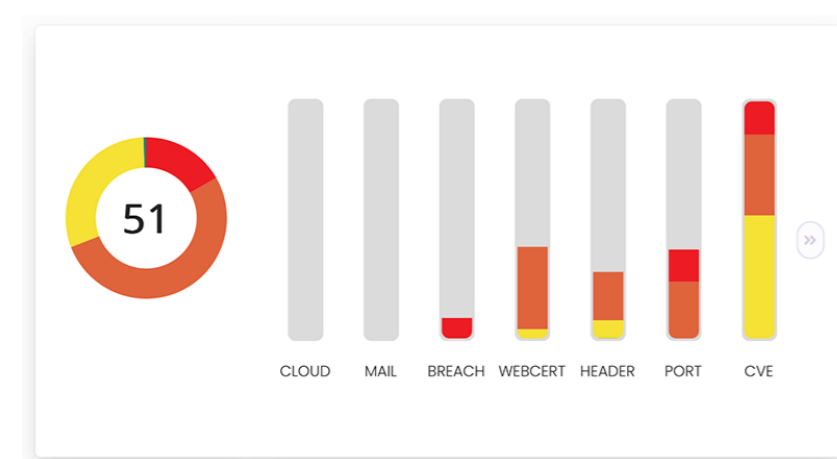
## 改修（ハードニング）のステップへ

### 改修（ハードニング）実施を決定

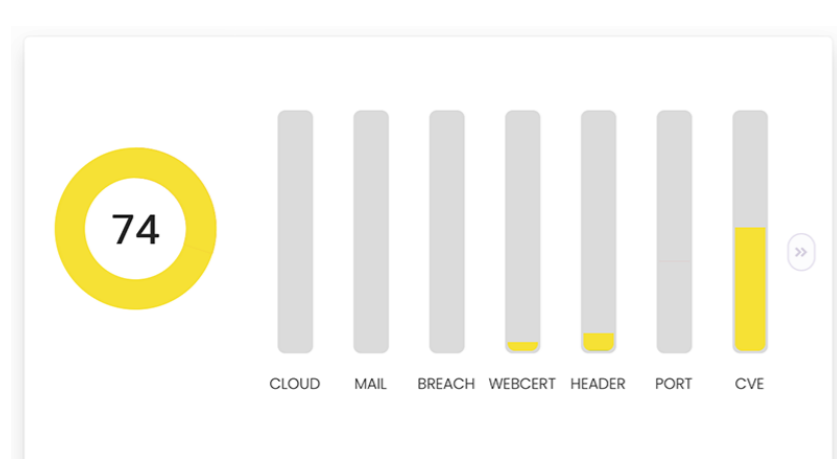
自社工数では対応が難しいとの結論に至り、『伴走サービス』の依頼を決定。

### 改修作業・定期診断の状況確認

特に深刻な脆弱性を示す「赤・オレンジ」の項目が消えることを達成目標とします。



改修前



改修後

赤・オレンジの項目が無くなり、対策による成果が現れました!

定期診断によって新たな問題が発覚した場合は、速やかに対処できるよう、弊社とのヒアリング体制を整えておきます。

**POINT!** サイバー攻撃のリスクは常に変化し続けます。お客様側でも、日頃から防御対策の基本を怠らないことが大事です。

## 未来研究所 伴走サービス

### 改修方法についてのヒアリング

お客様と一緒に、脆弱性の改修・改善を勧める『伴走サービス』についてのご説明、改修方針、手段等のヒアリングを実施。

### 『伴走サービス』工程プランを作成

ASM診断とペネトレーションテストから得られた結果から『作業優先順位表』を作成いたします。

### 改修（ハードニング）作業の実施

脆弱度が高いところから対策を打っていきます。

▶ ASM脆弱性 改修作業

▶ ペネトレ脆弱性 改修作業

### 脆弱性の定期診断

イージスEWを使用した定期診断を実施します。



改修後の効果測定を、診断オーダー内容(毎日/毎週/毎月)に合わせて実施し、報告書を提出いたします。